

## 4 中学校

[I-4-1表] 主要指標の推移

年度	学校数		学級数		生徒数		教員数 (本務者)		1学級当たり の生徒数		教員(本務者) 1人当たりの生徒数	
	対前年 増減数	対前年 増減率	対前年 増減数	対前年 増減率	対前年 増減数	対前年 増減率	対前年 増減数	対前年 増減率	対前年 増減数	対前年 増減率	対前年 増減数	対前年 増減率
	校		学級	%	人	%			人			
平成 23	533	△1	8,155	2.4	253,152	2.0	16,516	2.6	31.0	△0.1	15.3	△0.1
24	532	△1	8,215	0.7	253,485	0.1	16,728	1.3	30.9	△0.2	15.2	△0.2
25	533	1	8,330	1.4	252,766	△0.3	16,954	1.4	30.3	△0.5	14.9	△0.2
26	534	1	8,352	0.3	248,947	△1.5	17,025	0.4	29.8	△0.5	14.6	△0.3
平成 27	<b>531</b>	<b>△3</b>	<b>8,346</b>	<b>△0.1</b>	<b>244,705</b>	<b>△1.7</b>	<b>17,086</b>	<b>0.4</b>	<b>29.3</b>	<b>△0.5</b>	<b>14.3</b>	<b>△0.3</b>
国立	3	-	33	-	1,318	-	66	1.5	39.9	-	20.0	△0.3
公立	464	△1	7,641	0.1	221,067	△1.7	15,665	0.5	28.9	△0.5	14.1	△0.3
私立	64	△2	672	△1.8	22,320	△1.9	1,355	△1.4	33.2	△0.1	16.5	△0.1

### (1) 学校数

- ア 学校数は531校で、前年度より3校減少している。 [I-4-1表]  
 イ 設置者別では、国立3校(構成比0.6%)、公立464校(同87.4%)、私立64校(同12.1%)で、前年度より公立は1校、私立は2校減少している。 [I-4-1表・統計表23]  
 ウ 市町村別では、大阪市157校、堺市47校、東大阪市28校の順に多く、忠岡町・田尻町・岬町・河南町・千早赤阪村1校、島本町・豊能町・能勢町・太子町2校の順に少ない。 [統計表23]  
 エ 都道府県別では、東京都815校、北海道633校、大阪府531校の順である。 [付表-5]

### (2) 学級数

- ア 学級数は8,346学級で、前年度より6学級(対前年度△0.1%)減少している。 [I-4-1表]  
 イ 設置者別では、国立33学級(構成比0.4%)、公立7,641学級(同91.6%)、私立672学級(同8.1%)で、前年度より公立は6学級増加し、私立は12学級減少している。 [I-4-1表・統計表23]  
 ウ 学級編制方式別では、単式学級6,843学級(構成比82.0%)、複式学級2学級(同0.0%)、特別支援学級1,501学級(同18.0%)で、前年度より単式学級は105学級減少し、複式学級は同数、特別支援学級は99学級増加している。 [I-4-2表]  
 エ 市町村別では、大阪市2,246学級、堺市786学級、東大阪市472学級の順に多く、千早赤阪村7学級、田尻町11学級、河南町14学級の順に少ない。  
 また、前年度より、堺市17学級、箕面市7学級、大阪市5学級の順に増加し、八尾市9学級、羽曳野市8学級、守口市7学級の順に減少している。 [統計表23・付表-7]

[I-4-2表] 学級編制方式別学級数・生徒数

年度	総数		単式学級		複式学級		特別支援学級	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
	学級	人						
平成 23	8,155	253,152	7,058	248,794	1	5	1,096	4,353
24	8,215	253,485	7,048	248,793	-	-	1,167	4,692
25	8,330	252,766	7,030	247,667	1	6	1,299	5,093
26	8,352	248,947	6,948	243,353	2	9	1,402	5,585
27	<b>8,346</b>	<b>244,705</b>	<b>6,843</b>	<b>238,519</b>	<b>2</b>	<b>10</b>	<b>1,501</b>	<b>6,176</b>

(3) 生徒数

ア 生徒数は24万4,705人で、前年度より4,242人(対前年度△1.7%)減少している。

[I-4-1表]

イ 設置者別では、国立1,318人(構成比0.5%)、公立22万1,067人(同90.3%)、私立2万2,320人(同9.1%)で、前年度より、公立は3,803人、私立は439人減少している。

[I-4-1表・I-4-3表]

ウ 学級編制方式別では、単式学級23万8,519人(構成比97.5%)、複式学級10人(同0.0%)、特別支援学級6,176人(同2.5%)で、前年度より単式学級は4,834人減少し、複式学級は1人、特別支援学級は591人増加している。

[I-4-2表]

エ 男女別では、男子12万5,297人(構成比51.2%)、女子11万9,408人(同48.8%)で、前年度より男子は1,947人、女子は2,295人減少している。

[I-4-3表]

オ 市町村別では、大阪市6万4,999人、堺市2万3,564人、東大阪市1万3,650人の順に多く、千早赤阪村109人、能勢町256人、田尻町279人の順に少ない。

また、前年度より箕面市87人、泉佐野市14人、堺市13人の順に増加し、大阪市1,127人、東大阪市248人、豊中市208人の順に減少している。

[統計表24・付表-7]

カ 都道府県別では、東京都31万874人、大阪府24万4,705人、神奈川県23万5,344人の順である。

[付表-5]

キ 1学級当たりの生徒数は29.3人で、前年度より0.5人減少している。

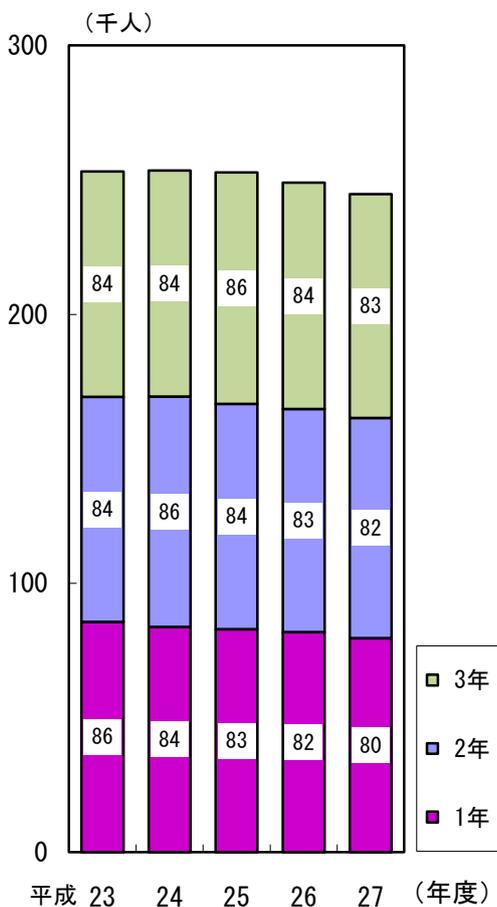
また、市町村別では、忠岡町35.0人、高石市33.4人、交野市32.8人の順に多い。

[I-4-1表・付表-7]

ク 教員(本務者)1人当たりの生徒数は14.3人で、前年度より0.3人減少している。

[I-4-1表]

[I-4-1図] 学年別生徒数の推移



[I-4-3表] 設置者別男女別生徒数

年度	総数			国立		公立		私立	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女
人									
平成23	253,152	128,944	124,208	637	677	116,523	111,180	11,784	12,351
24	253,485	129,013	124,472	640	678	116,751	111,622	11,622	12,172
25	252,766	128,534	124,232	640	681	116,476	111,629	11,418	11,922
26	248,947	127,244	121,703	645	673	115,406	109,464	11,193	11,566
27	244,705	125,297	119,408	645	673	113,608	107,459	11,044	11,276

[I-4-4表] 学年別生徒数

年度	総数	1年	2年	3年
人				
平成23	253,152	85,680	83,688	83,784
24	253,485	83,742	85,697	84,046
25	252,766	82,928	83,833	86,005
26	248,947	81,839	82,955	84,153
平成27	244,705	79,554	81,891	83,260
男	125,297	40,865	42,121	42,311
女	119,408	38,689	39,770	40,949

(4) 帰国生徒数・外国人生徒数

ア 帰国生徒数は180人で、前年度間より83人(対前年度間85.6%)増加している。

[I-4-5表]

イ 外国人生徒数は2,799人で、前年度より174人(対前年度△5.9%)減少している。

[I-4-6表]

[I-4-5表] 帰国生徒数

年度間	総数	1年	2年	3年
	人			
平成 22	128	52	33	43
23	126	42	39	45
24	156	64	46	46
25	97	43	28	26
26	180	70	47	63

[I-4-6表] 外国人生徒数

年度	総数	国立	公立	私立
	人			
平成 23	3,271	6	3,019	246
24	3,186	9	2,942	235
25	3,050	11	2,834	205
26	2,973	8	2,760	205
27	2,799	6	2,622	171

(5) 長期欠席者数(平成26年度間)

ア 長期欠席者数は1万1,997人で、前年度間より480人(対前年度間△3.8%)減少している。

[I-4-7表]

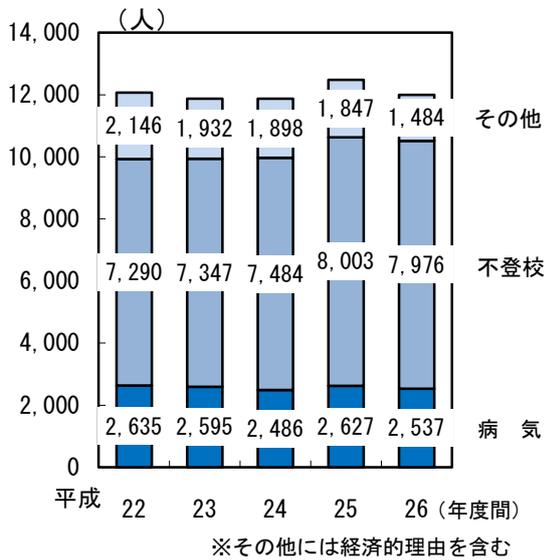
イ 理由別では、病気2,537人(構成比21.1%)、経済的理由2人(同0.0%)、不登校7,976人(同66.5%)、その他1,482人(同12.4%)で、前年度間より病気は90人、経済的理由は5人、不登校は27人、その他は358人減少している。

[I-4-7表]

ウ 長期欠席者数が全生徒数に占める割合は4.82%で、前年度間より0.12ポイント低下している。全国平均は3.62%で、大阪府が1.20ポイント上回っている。

[I-4-7表]

[I-4-2図] 理由別長期欠席者数の推移



[I-4-7表] 理由別長期欠席者数

年度間	総数	全生徒数に占める長欠者率	欠席理由				全国総数	全生徒数に占める長欠者率
			病気	経済的	不登校	その他		
平成 22	12,071	4.86	2,635	6	7,290	2,140	124,544	3.50
23	11,874	4.69	2,595	1	7,347	1,931	122,053	3.42
24	11,868	4.68	2,486	2	7,484	1,896	121,509	3.42
25	12,477	4.94	2,627	7	8,003	1,840	125,465	3.55
26	11,997	4.82	2,537	2	7,976	1,482	126,850	3.62

(6) 教員数(本務者)

ア 教員数(本務者)は1万7,086人で、前年度より61人(対前年度0.4%)増加している。

[I-4-1表]

イ 設置者別では、国立66人(構成比0.4%)、公立1万5,665人(同91.7%)、私立1,355人(同7.9%)で、前年度より国立は1人、公立は79人増加し、私立は19人減少している。

[I-4-1表・統計表27]

ウ 男女別では、男性9,290人(構成比54.4%)、女性7,796人(同45.6%)で、前年度より男性は13人、女性は48人増加している。

[統計表27]